

教師の心得

『時を守り 場を清め 礼を正す』

「時を守る」

- 1 授業開始時刻を守る。
○2分前には教室に行き、児童生徒の様子を見ながら開始時刻を待つ。
- 2 授業終了時刻を守る。
○45（50）分間でねらいに即した授業が展開できるよう、見通しを持ちながら学習を計画し実施する。
- 3 やるべきことを後回しにせず、即実行する。
○児童生徒に係わることを最優先する意識を持つ。

「場を清める」

- 4 整った学習環境をつくる。
○学習に役立ち、児童生徒の活動が見える掲示を行う。
○ゴミのない、いつでも清潔な教室環境をつくる。
- 5 授業準備を十分に行い、展開を整理する。
○1単位時間に、児童生徒に何をつかませるのかを明確にするための教材研究に十分時間をかける。
- 6 授業が始まる前に次時の教科書・ノートを準備させる。
○授業の終わりに、次の時間の準備を促す。

「礼を正す」

- 7 授業の始まりと終わりのあいさつをする。
○教員自ら進んで気持ちのよいあいさつをする。
- 8 時と場に合った言葉づかいをする。
○児童生徒に対して正しい言葉づかい、ていねいな言葉づかいを心がける。
- 9 謙虚な気持ち、謙虚な態度で接する。
○教員に間違いがあればそれを認め、しっかりと謝る。
○児童生徒個々の能力を把握し、それを認め、個に応じた指導を行う。

◎相手を思いやる心

- 児童生徒に時間の意識を持たせるとともに、学習時間を保障する。
- 教員の都合でなく、児童生徒を尊重することにより、教員への信用を積み上げる。
- 物事の優先順位を考え、児童生徒の指導に集中し、臨機応変に指導する。

◎整理、整頓、清潔、しつけ、作法

- 学校、教室の環境も教育の大きな要因と考え、児童生徒と一緒に環境を整える。
- 授業のねらいを明確にし、それを達成するための授業展開を教員自身が整理してから授業に臨む。
- 何事にも準備が必要であり、毎時間それを怠らないことで、学習することを意識できるようしつける。

◎よりよい人間関係づくり

- 信頼関係のもととなるあいさつを、目を合わせて行い、授業へ気持ちを切り替えさせる。
- 特に授業時の言葉づかいは、誰に対しても公平で、丁寧さを忘れない。
- 自分の言動をいつでも客観的にみて修正することができるようにする。
- 児童生徒一人一人に目を向け、一人一人の顔とよりよい成長を頭に浮かべながら指導を行う。

- 周囲に気を配れること
- 自分自身の成長のために仲間と切磋琢磨できること
- 常に謙虚であること
- 感動できる豊かな心を持つこと
- 感謝の気持ちを表せること

